

# 講習会プログラム

講演の概要は、講習会ホームページに掲載されています。

## 8月3日(水)

講習会第1日目 (三鷹市公会堂)  
9:30 開場・受付開始



組織細胞化学講習会  
モバイルサイト

● 9:50 挨拶：高松哲郎 日本組織細胞化学会理事長 / 川上速人 実行委員長

### A 組織細胞化学の基礎 (10:00~12:30)

座長：加藤良平 (山梨大学)、河田光博 (京都府立医科大学)

● 10:00	免疫染色の原理と基礎技術 ー初心者が知っておくべきポイントー	千田隆夫 (藤田保健衛生大学)	テキスト p. 1
● 10:30	固定法と抗原の賦活化	山下修二 (慶應義塾大学)	p. 13
● 11:00	免疫電子顕微鏡法の基礎と応用	小澤一史 (日本医科大学)	p. 31
● 11:30	組織細胞化学のための凍結技法の基礎と応用 ー生きた形態解析を目指す生体内凍結技法ー	寺田信生、大野伸一 (山梨大学)	p. 43
● 12:00	膜を構成する分子の解析法	藤本豊士 (名古屋大学)	p. 55

●●● 昼食 (12:30~13:30) ●●●

### B 遺伝子発現の解析技術 (13:30~15:30)

座長：内山安男 (順天堂大学)、根本則道 (日本大学)

● 13:30	<i>In situ</i> ハイブリダイゼーションの基礎と応用	小路武彦 (長崎大学)	テキスト p. 63
● 14:00	ホルマウント <i>in situ</i> ハイブリダイゼーション 法とその応用	金井正美 (東京医科歯科大学)	p. 77
● 14:30	DNA-FISH 法 ~プローブ作製から染色、応用まで~	村田晋一、瀬山 敦 (埼玉医科大学)	p. 83
● 15:00	RNAi 法の基礎と応用そして評価方法	北條浩彦 (国立精神・神経医療研究センター)	p. 93

● 休憩 (15:30~16:00) ●

### C 共焦点顕微鏡と画像技術 (16:00~17:30)

座長：伊東丈夫 (東海大学)

● 16:00	共焦点および蛍光顕微鏡を使いこなす基礎知識	鈴木健史 (群馬大学)	テキスト p. 103
● 16:30	画像処理から発表までのワークフロー	村上 徹 (群馬大学)	p. 117
● 17:00	画像解析技術の活用法	宮東昭彦 (杏林大学)	p. 131

●●● 懇親会 (18:30~20:30) ●●●

(杏林大学三鷹キャンパス・レストラン GARDEN)

※ 懇親会は、事前にご登録いただいた方のみご参加いただけます

# 8月4日(木)

講習会第2日目 (三鷹市公会堂)

9:30 開始 (9:15 開場)

## D 糖鎖解析技術 (9:30~10:30)

座長：青木大輔 (慶應大学)

● 9:30	糖の組織細胞化学	秋元義弘 (杏林大学)	テキスト p. 141
● 10:00	糖鎖分析技術を取り入れた組織細胞化学研究	池原 譲 (産業技術総合研究所)	p. 155

● 休憩 (10:30~10:45) ●

## E イメージング技術の新しい展開 (10:45~12:45)

座長：高松哲郎 (京都府立医科大学)、大野伸一 (山梨大学)

● 10:45	光による生体分子イメージング技術	高松哲郎、田中秀央 (京都府立医科大学)	テキスト p. 167
● 11:15	カルシウムイメージング技術の基礎	佐藤洋一 (岩手医科大学)	p. 175
● 11:45	蛍光遺伝子改変動物の作製と可視化	齋藤尚亮 (神戸大学)	p. 187
● 12:15	蛍光プローブの精密設計による、 新たな生細胞機能可視化の実現	浦野泰照 (東京大学)	p. 197

●●● 昼食 (12:45~14:00) ●●●

## F 病理診断と臨床応用 (14:00~16:00)

座長：松野 彰 (帝京大学)、増田 (梅村) しのぶ (日本大学)

● 14:00	免疫染色のトラブルシューティング	堤 寛 (藤田保健衛生大学)	テキスト p. 209
● 14:30	腫瘍の病理診断と免疫染色	菅間 博 (杏林大学)	p. 219
● 15:00	病理診断におけるレーザーマイクロ ダイセクション法の実際	中西陽子 (日本大学)	p. 229
● 15:30	免疫染色による治療方針決定への応用	藤井多久磨 (慶應義塾大学)	p. 239

# 技術講習会 (ウェットラボ)

8月5日(金)

第3日目 (杏林大学三鷹キャンパス) ※ 別紙案内図をご参照ください  
9:30 ~ 16:00 ※ 終了時間はコースにより異なります

- 技術講習会(ウェットラボ)は、事前にご登録いただいた方のみご参加いただけます。
- 受付にてご出席を確認いたします。名札をお受け取りになり、各コース会場においでください。

## ウェットラボ・コース一覧

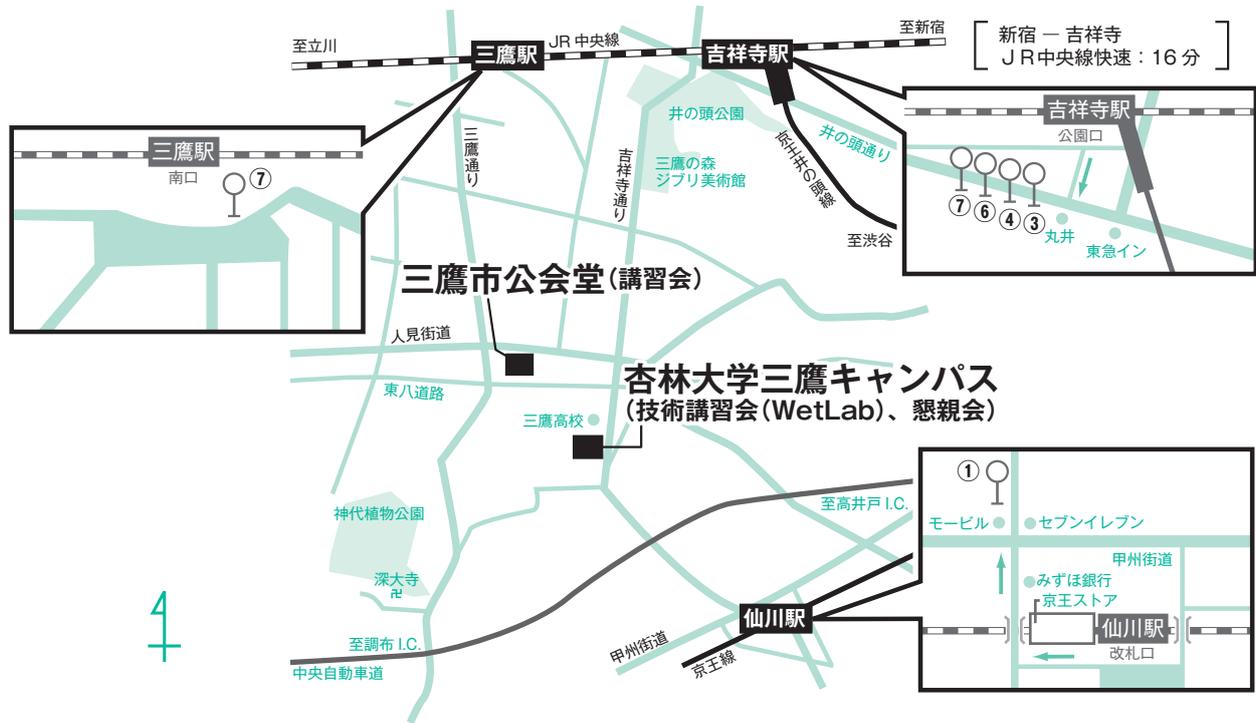
● A	蛍光顕微鏡基礎知識の修得 — 観察からデジタルカメラによるタイムラプス撮影まで	看護・医学教育研究棟 4階	12名
● B	光学顕微鏡の基礎から、3Dイメージングの実際まで	基礎医学研究棟 3階	10名
● C	共焦点レーザー顕微鏡の基本テクニックとスペクトルイメージング	// 2階	10名
● D	レーザーマイクロダイセクション — 組織標本、植物組織、蛍光標識サンプル、培養細胞など多様な材料からのLMD—	// 2階	20名
● E	免疫組織化学染色の基礎とマイクロウェーブを使用した迅速染色法 (特殊染色・免疫組織染色)、ティッシュアレイヤー装置を使用したアレイブロック作製	// 2階	20名
● F	基礎から学ぼう ウェスタンブロットニング	// 4階	10名
● G	様々なサンプルからのリアルタイムPCRによる迅速な遺伝子発現解析	// 4階	18名
● H	<i>In Situ</i> Hybridization 法の基礎と自動前処理装置の活用	// 5階	15名
● I	組織検体からの核酸抽出	// 5階	20名
● J	初めての二次元電気泳動 & ウェスタンブロット	// 1階	25名
● K	簡便な凍結技法〈生体内〉—凍結置換固定法の免疫組織化学への応用	// 5階	10名
● L	川本法による未固定非脱灰凍結切片とパラフィン切片の作製	// 4階	15名

## 各コース会場配置図

基礎医学研究棟			看護・医学教育研究棟	
			7階	
			6階	
Hコース	Iコース	Kコース	5階	
Fコース	Gコース	Lコース	4階	Aコース
Bコース			3階	
Cコース	Dコース	Eコース	2階	
Jコース			1階	

- 別紙案内図をご参照ください。

## 会場（詳細は講習会ホームページをご覧ください）



### 講習会：三鷹市公会堂

〒181-8555 東京都三鷹市野崎1-1-1  
<http://mitaka.jpn.org/kokaido/>

#### ★講習会会場へのアクセス

※公共交通機関にてご来場ください。

#### ◇バス

(料金前払い210円均一。PASMO、SUICA利用可)

#### JR中央線「三鷹駅」南口

▶バスのりば：南口ロータリー内

#### ●バスのりば⑦

鷹54 仙川行、晃華学園東行(約15分)  
 ⇒『三鷹市役所前』下車

#### JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」公園口(南口)

▶バスのりば：駅から直進、井の頭通り「丸井」前

#### ●バスのりば③

吉01 境92 武蔵境駅南口行(約20分)  
 ⇒『三鷹市役所前』下車

#### ●バスのりば④

吉06 調布駅北口行(約20分)  
 ⇒『三鷹市役所前』下車

#### 京王線「仙川駅」

▶バスのりば：駅北側へ徒歩5分、甲州街道を渡る

#### ●バスのりば①

鷹54 三鷹駅行(約20分)  
 ⇒『三鷹市役所前』下車

#### ◇タクシー

JR「三鷹駅」南口、JR「吉祥寺駅」中央口より、10～25分（1500円程度）

### Wet Lab：杏林大学三鷹キャンパス

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2  
<http://www.kyorin-u.ac.jp/>

#### ★Wet Lab会場へのアクセス

※公共交通機関にてご来場ください。

#### ◇バス

(料金前払い210円均一。PASMO、SUICA利用可)

#### JR中央線「三鷹駅」南口

▶バスのりば：南口ロータリー内

#### ●バスのりば⑦

鷹54 仙川行、晃華学園東行(約20分)  
 ⇒『杏林大学病院前』下車

#### JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」公園口(南口)

▶バスのりば：駅から直進、井の頭通り「丸井」を右へ

#### ●バスのりば⑥

吉04 野ヶ谷行、深大寺行(約20分)  
 ⇒『杏林大学病院入口』下車

吉05 調布駅北口行〔杏林大学病院経由〕(約20分)  
 ⇒『杏林大学病院前』下車

#### ●バスのりば⑦

吉03 仙川行、新川団地中央行、杏林大学病院前行  
 (約20分) ⇒『杏林大学病院前』下車

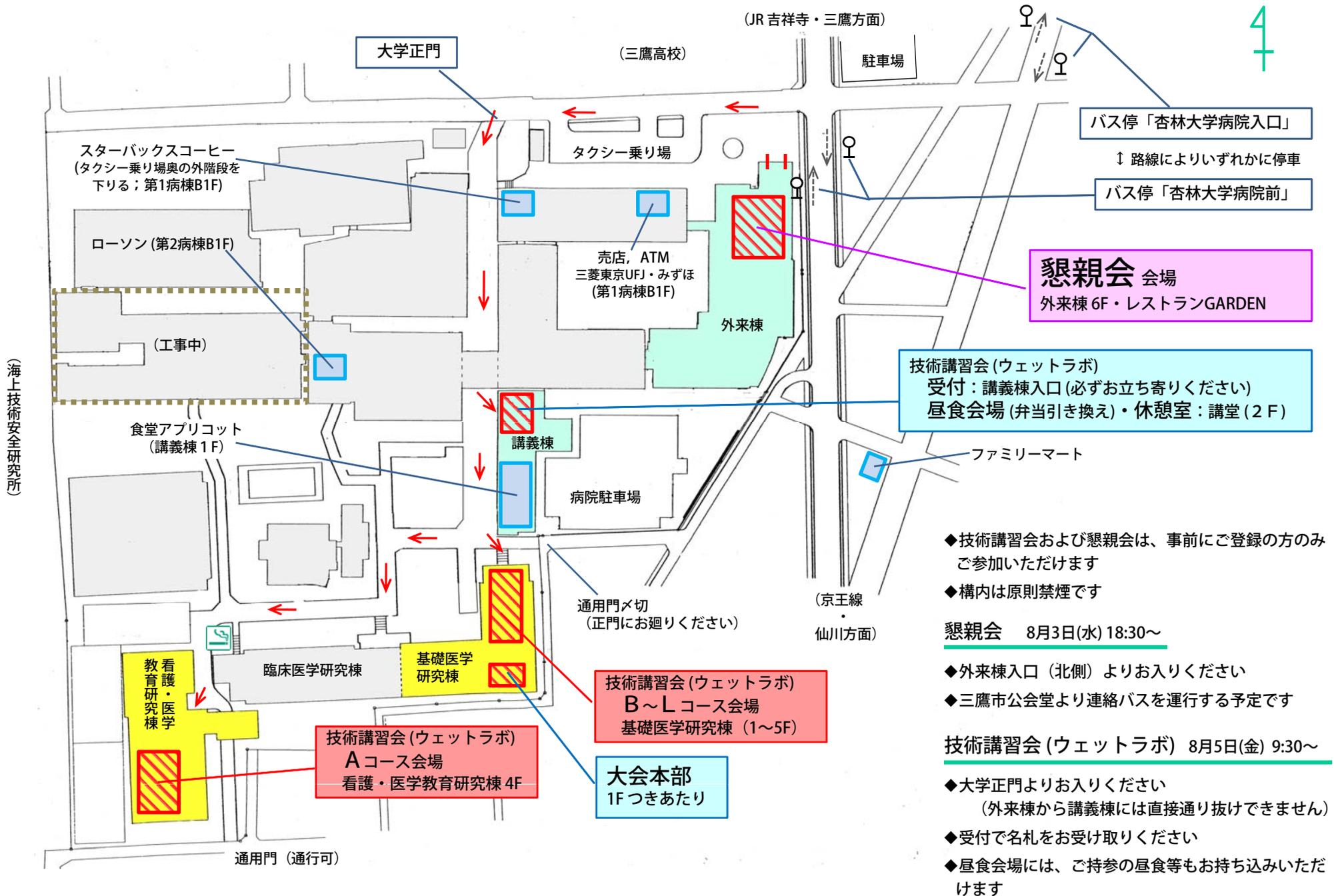
#### 京王線「仙川駅」

▶バスのりば：駅北側へ徒歩5分、甲州街道を渡る

#### ●バスのりば①

鷹54 三鷹駅行、吉03 吉祥寺駅中央口行(約15分)  
 ⇒『杏林大学病院前』下車

# 懇親会・技術講習会(ウェットラボ) 会場：杏林大学三鷹キャンパス



(海上技術安全研究所)